安全データシート

多用途補修パテ　プチ

SDS No. : 205819
V001.0
改訂: 13.03.2020
発行日: 18.10.2023

１．　化学物質等及び会社情報

製品コード： 1717662
製品名: 多用途補修パテ　プチ

会社名：
ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号：　+81 (45) 758-1800

２．　危険有害性の要約

GHS分類 ：

危険有害性クラス	危険有害性区分
皮膚刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2
皮膚感作性	区分 1
水生環境有害性 短期（急性）	区分 3
水生環境有害性(長期間)	区分 3

GHSラベル要素:

絵表示:

注意喚起語: 警告

危険有害性情報:
H315 皮膚刺激。
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H319 強い眼刺激。
H412 長期継続的影響により水生生物に有害。

安全対策
P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P264 取扱い後はよく手を洗うこと。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋、保護眼鏡及び保護面を着用すること。

応急措置:
P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。
P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ，再使用する場合には洗濯をすること。

廃棄:
P501 廃棄するときは、適用法令、及び製品特性に従い、適切な処理・廃棄施設に内容物／容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

３．組成、成分情報

単一製品･混合物： 混合物

危険有害成分及び濃度

成分	wt%
ポリメルカプタン硬化剤	10 - 15 %
エポキシ樹脂	5 - 10 %
ポリオレフィン	2 - 4 %
酸化チタン	2 - 4 %
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	2 - 3 %
ポリプロピレングリコールジグリシジルエーテル	0.5 - 1 %
充填剤	65 - 75 %

４．応急処置

皮膚にかかった場合： 流水と石けんでよく洗い流すこと。保湿クリームを塗ること。汚染された衣類を全て着替えること。必要な場合は皮膚科医の診察を受けること。

眼に入った場合： 直ちに流水あるいは、すすぎ液で最低5分間、眼を洗い流す。痛み（激しい痛み、光への過敏、視力障害）が残る場合、洗浄を続け、医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合： 口やのどをすすぐ。コップに1～2杯の水を飲む。医師の診察を受けること。

吸入した場合： 空気の新鮮な場所へ移動させ、不快感が続く場合医師の診察を受けること。

５．火災時の措置

消火剤： 二酸化炭素、泡、粉末、水噴射、微細な水噴霧

使ってはならない消火剤: 高圧水噴射

保護具: 保護具を着用すること。
自給式呼吸器を着用すること。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項: 皮膚や眼に触れないようにすること。
保護具を着用すること。
十分な換気を保つこと。

環境に対する注意事項 下水管／地表水／地下水中に捨てないこと。

除去方法: 物理的に除去する。
13項に基づいて汚染された製品を廃棄物として処分する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い 作業場が適切に換気されていることを確かめる。
皮膚や眼に触れないようにすること。

保管:

他の容器に移し替えないこと。
容器をしっかり密封しておくこと。
涼しく、乾燥した場所に保管すること。

８．暴露防止及び保護措置

管理濃度

成分	日本産業衛生学会	ACGIH
ポリメルカプタン硬化剤	(blank)	(blank)
エポキシ樹脂	(blank)	(blank)
ポリオレフィン	(blank)	(blank)
酸化チタン	4 mg/m3TWA 1 mg/m3TWA 0.3 mg/m3TWA	10 mg/m3 TWA
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	(blank)	(blank)
ポリプロピレングリコールジグリシジルエーテル	(blank)	(blank)
充填剤	4 mg/m3TWA 8 mg/m3TWA 2 mg/m3TWA 1 mg/m3TWA	10 mg/m3 TWA

設備対策: しっかりした換気／排気を確保すること。

９．物理的及び化学的性質

形状：	プラスチック
色:	青，白
臭い:	特徴的な
pH：	データ無し
融点/凝固点:	データ無し
引火点:	データ無し
比重：:	1.7 - 1.9 g/cm3

１０．安定性及び反応性

安定性：

化学的反応性: アルコール及びアミンと反応する。
酸化剤、酸及びアルカリと反応する。
いくつかの硬化剤による大量の反応は急激な発熱を伴う暴走反応を起こす恐れがある。

化学的安定性: 推奨保存状態下では安定している。

避けるべき条件 意図された目的に使用される場合は、無し

危険有害な分解生成物： 不明

１１．有害性情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分	ばく露経路	標的臓器
ポリメルカプタン硬化剤	皮膚感作性	サブカテゴリ1B		
エポキシ樹脂	皮膚刺激性	区分2		
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2A		
	皮膚感作性	区分1		
ポリオレフィン	分類の必要なし			
酸化チタン	分類の必要なし			
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	分類の必要なし			
ポリプロピレングリコールジグリシジルエーテル	皮膚刺激性	区分2		
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2		
	皮膚感作性	区分1		
充填剤	分類の必要なし			

一般毒性情報: 他のエポキシド化合物との交差反応の可能性がある。
エポキシドのアレルギーを患っている人は、製品との接触を避けること。

１２．環境影響情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分
ポリメルカプタン硬化剤	水生環境有害性 短期（急性）	区分3
	水生環境有害性(長期間)	区分3
エポキシ樹脂	水生環境有害性 短期（急性）	区分2
	水生環境有害性(長期間)	区分2
ポリプロピレングリコールジグリシジルエーテル	水生環境有害性(長期間)	区分3

一般環境有害性情報:　下水管／地表水／地下水中に捨てないこと。

１３．廃棄上の注意

推奨廃棄方法:　廃棄物や残渣は地方自治体の規則にしたがって廃棄すること。

汚染容器包装の廃棄方法::　リサイクルはパッケージを完全に空にしてから行う。

１４．輸送上の注意

Marine transport IMDG:
危険物には該当しない。

Air transport IATA:
危険物には該当しない。

`１５．適用法令

労働安全衛生法：
名称等を通知すべき有害物　酸化チタン
名称等を表示すべき有害物　酸化チタン
消防法　該当しない
毒劇物法：　該当しない
PRTR 法：　該当しない

１６．その他の情報

発行日:　18.10.2023

注意::

この安全性データシートは日本工業規格（JIS: Z 7253）に基づいて作成しており、日本の法律にのみ則った情報を提供しております。他の管轄地域又は国の実体法または輸出法に関しては、いかなる種類の表明又は保証も行いません。ここに提供している情報が他の管轄地域の実質的な輸出又はその他の法令に準拠していることを輸出前に確認して下さい。ご不明な点がございましたらHenkel Product Safety and Regulatory Affairsにお問い合わせ下さい。

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。
ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、 明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含む、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。
お客様各位、
ヘンケルは、バリューチェーン全体に沿ったさまざまな機会を促進することにより、持続可能な未来を築くことをお約束します。
SDSを紙から電子版に切り替えて受け取りたい場合は、最寄りのカスタマーサービスにお問い合わせください。
個人用ではない電子メールアドレス（例：SDS @ your_company.com）を使用することをお勧めします。